応仁の乱と戦国時代

ポイント1　応仁の乱

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 応仁の乱の背景

8代将軍＿**足利義政**＿のあとつぎ争いなどから

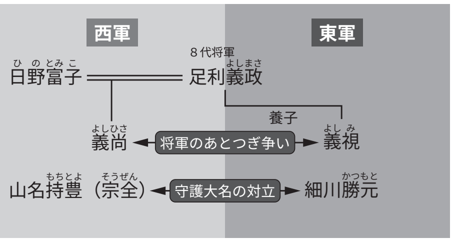
守護大名の細川氏（東軍）と山名氏（西軍）が対立

↓

1467年＿**応仁の乱**＿がおこる

戦乱は京都から拡大し，11年間続く

資料1 応仁の乱が始まったころの対立関係



② 応仁の乱の影響

幕府の力がおとろえ，地方の武士や民衆が力をつける

↓

実力を持った下位の身分の者が上位の者に打ち勝つ＿**下剋上**＿の風潮が広がる

↓

＿**戦国**＿時代の始まりにつながる

ポイント2　一揆の発生

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

1428年＿**正長の土一揆**＿

場所：近江国（滋賀県）→京都周辺

内容：馬借らが徳政を求めて土一揆を起こし，土倉や酒屋などをおそう

動きが近畿地方を中心に広がる

資料2 正長の土一揆（徳政一揆）の碑文

1485年 **山城の国一揆**（やましろのくにいっき）

場所：山城国（京都府南部）

内容：地方武士（国人）と農民が守護大名を追い出し，約8年間自治を行う

1488年 **加賀の一向一揆**（かがのいっこういっき）

場所：加賀国（石川県南部）

内容：一向宗（浄土真宗（じょうどしんしゅう））の門徒（もんと）集団が守護大名を追い出し，約100年間自治を行う

ポイント3 戦国時代

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 戦国大名の登場

戦国大名：守護大名やその家臣などが力をつけ，**下剋上**の風潮の中で台頭してきた大名

戦国大名が領地拡大を求めて争った約100年間を**戦国時代**という

② 戦国大名の支配

独自の**分国法**（ぶんこくほう）を制定

城の周りに**城下町**（じょうかまち）をつくる

資料3 分国法の例（一部抜粋）

・今川仮名目録（いまがわかなもくろく）
一　けんかをした者は，理由をとわず，両方とも死罪とする。
・朝倉敏景十七箇条（あさくらとしかげじゅうしちかじょう）（朝倉孝景条々（あさくらたかかげじょうじょう））
一　朝倉家では特定の家老（かろう）を定めず，能力と忠節で決めること。
・信玄家法（しんげんかほう）（甲州法度之次第（こうしゅうはっとのしだい））
一　許可を得ず他国へ贈り物や手紙を送ることはすべて禁止する。

➡ 喧嘩両成敗

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 将軍のあとつぎ争いなどから1467年に起こり，京都を中心に約11年続いた戦乱を何というか。　＿＿＿＿　**応仁の乱**

(2) 応仁の乱が起きたときの将軍は誰か。　＿＿＿＿　**足利義政**

(3) 戦国大名が城の周りにつくった町を何というか。　＿＿＿＿　**城下町**

(4) 戦国大名が独自につくった法律を何というか。　＿＿＿＿　**分国法**

(5) 実力を持った者が自分より上の身分の者に打ち勝つ社会の風潮を何というか。　＿＿＿＿　**下剋上**

(6) 近江国の馬借らが徳政を幕府に求めたことがきっかけで近畿地方を中心に広がった1428年の一揆は何か。　＿＿＿＿　**正長の土一揆**

(7) 1485年に山城国で起きた一揆を何というか。　＿＿＿＿　**山城の国一揆**

(8) 1488年に加賀国で起きた一揆を何というか。　＿＿＿＿　**加賀の一向一揆**

(9) 戦国大名が領地拡大を求めて争った約100年間の時代を何というか。　＿＿＿＿　**戦国時代**